平成29年6月24日

**立候補者各位**

　拝　啓　私たちは障害のある子が、地域の学校でともに学び、ともに育つ教育（インクルーシブ教育）の実現に向けて、東京都を中心に、団体・個人を問わず、障害当事者・保護者・教員・研究者・支援者等で構成し、活動している「東京インクルーシブ教育プロジェクト」というネットワークです。
　この度の都議会議員選挙に於いて、立候補される方全員へ、下記の通り、インクルーシブ教育等についての、公開質問状をメールにて送らせて頂いております。
　お忙しい中、大変申し訳ありませんが、皆様のインクルーシブ教育に対するご見解を伺いたく、今週6月30日（金曜日）までに、tip2017.office@gmail.comまで、メールにてご返信ください。

東京インクルーシブ教育プロジェクト　代表　海老原 宏美

敬 具

公開質問状

①障害者権利条約条文の24条「教育」と、日本が推進するインクルーシブ教育システムが国連解釈と照らし合わせて合致していると感じますか？

②障害のある子と障害のない子どもが、等しく教育を受けるために、学校環境の調整・整備はどのようなことが必要だと思いますか？

③障害のある子が障害のない子どもと等しく教育を受ける為に、障害者差別解消法はどのような機能を果たせると考えますか？

④東京都にも差別禁止条例を制定する準備があるが、学校教育についてはどのような規定を作るべきだと考えますか？

⑤少子高齢化が進む中、障害があるかないかで判断する就学時検診含め、紋切り型（ふるい分け優先）の教育システムにより、インクルーシブ社会を目指すのに反して、特別支援学級・特別支援学校の数がどんどん増えていることをどのように考えますか？

東京都杉並区和泉3-60-17當麻ビル1Ｆ

特定非営利活動法人てんぐるま気付

東京インクルーシブ教育プロジェクト事務局